

当社受信機におけるCASの状況

2019年2月28日
パナソニック株式会社
アプライアンス社

受信機におけるCASの取扱い

- B-CASカード/ACASチップは、視聴者識別（有料放送の契約者識別、NHKの受信確認メッセージ表示）、および無料/有料放送のコンテンツ権利保護のために使用されています。
- 2K地上波・衛星放送受信機では、B-CAS社から視聴者に無償貸与される「B-CASカード」の供給を受け、受信機に同梱しています
 - 同梱に際し取扱手数料をB-CAS社に支払いますが、部品としての購入ではありません
- 新4K8K衛星放送受信機では、新CAS協議会が認定する「ACASチップ」を購入し、受信機に内蔵して販売しています
 - ACASチップは部品の一つとなるため、受信機価格に反映されます

当社商品例

2K放送対応テレビ



B-CASカード同梱

新4K衛星放送対応テレビ



ACASチップ内蔵

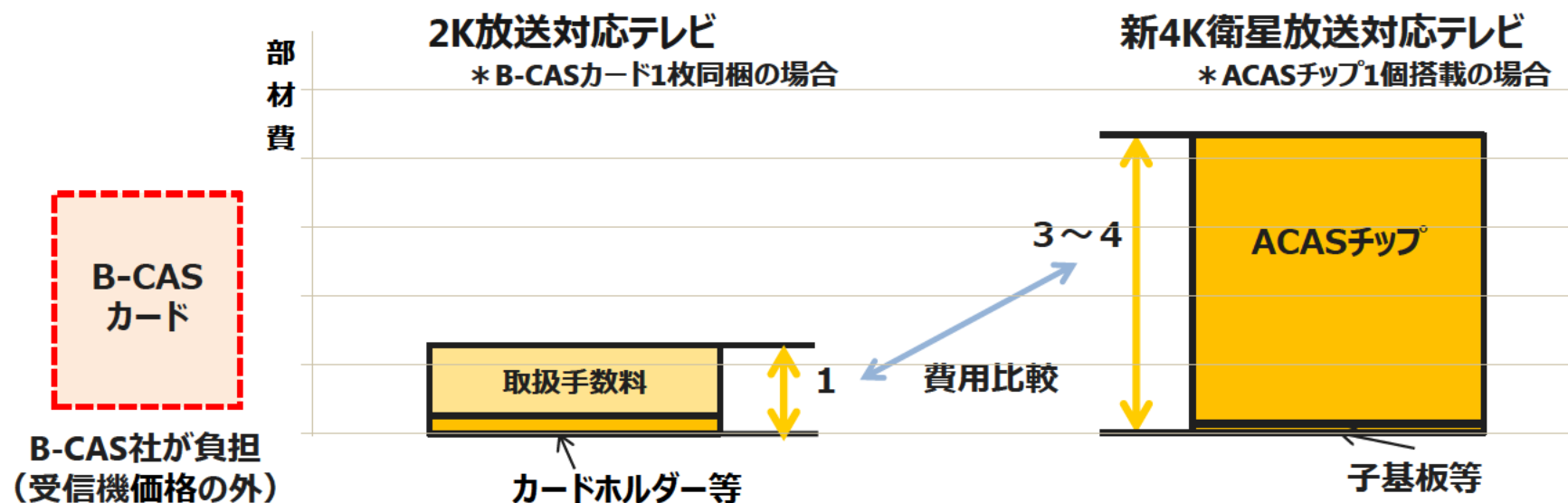
CAS関連部材費および受信機価格への影響（当社テレビの場合）

- CASに関連する部材費は、ACASはB-CAS※¹の3～4倍程度になっています
- お客様購入価格※²における差異は、大よそ1000円～2000円が目安となります
- B-CASはB-CAS社が「B-CASカード」を視聴者に無償貸与しているため、お客様の負担（受信機価格への影響）がACASに比べ少ない構図になります

※¹ B-CASカードの「取扱手数料」を部材費とみなして算出

※² 受信機設計・製造・販売に掛かる費用・マージン含む

受信機に掛かる部材費の比較イメージ



修理対応と故障率（当社テレビの場合）

【修理対応】

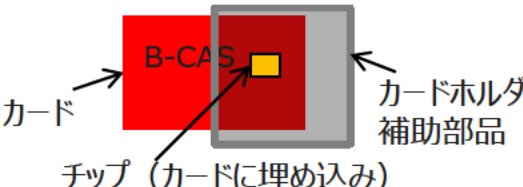
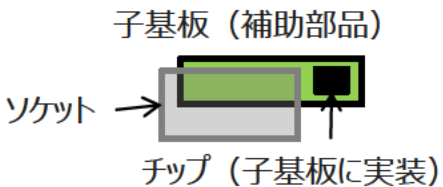
	B-CAS	ACAS
対応者	B-CAS社	パナソニック
無償対応期間	原則3年間	1年間
修理方法	B-CASカード交換 （郵送され視聴者が交換）	ACASチップ搭載子基板交換 （修理者が訪問し交換）
修理に要する時間	1～2日（郵送）	平均5日程度（お客様都合含む）
無償対応期間後の修理	有償（費用 2,050円※1）	有償（費用 2万円程度※2）

※1 B-CASカード使用許諾契約約款から引用

※2 出張料・技術料・部品代等

※ その他一般的に出張修理にて対応する不具合の場合は、ACASの場合と同様の修理費用・修理期間が掛かる（但し、不具合内容により異なる）

【故障率】

	B-CAS	ACAS
構造		
CAS側 故障率	入手不可（B-CAS社対応のため）	実績なし（出荷実績が少ないため）
受信機側 故障率	数十PPM以下	同左と予測

- ACASの場合はユーザがカードを抜き差ししないため、取扱い起因による不具合発生は少ないと予想しますが、CAS側の故障が発生した場合は、消費者負担・不便は大きくなります

視聴者負担を軽減する方策

【方策1】

コンテンツ保護機能と視聴者識別機能を分離

- コンテンツ保護機能をソフトウェア方式にしてCAS専用部材を不要とし、有料放送視聴希望者のみ識別できる方式を用意



◇ メリット (有料放送を視聴しない方)

- 受信機価格の低減
- CAS部品が故障した際の修理負担の回避

◇ 課題

- コンテンツ保護を解除するソフトウェア等、実現に必要な技術開発、および新たな運用スキームの構築が必要
- 視聴者視点で現行の方式との整合に時間を要す

方策1を実現するためには、多額の開発費と時間が必要と推測されるため、現行の方式からの切替えは困難

【方策2】

CAS専用部材を使用し受益者がコストを負担

- CAS方式に係らず、受益者がCAS専用部材コストを負担する仕組みを構築 (放送事業者等による負担)



◇ メリット (全受信機購入者)

- 受信機価格の低減

◇ 課題

- チップ形状の場合、故障時の視聴者負担懸念は残る
⇒CASベンダー・受信機メーカーによる継続的な取組みにより、故障率の低減・修理容易性向上を図る

方策2はCAS方式を変更する必要がないため、現行の方式でも実現することが可能